

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）事後評価結果表

大 学 名	○大阪大学、広島大学、長崎大学、名城大学
整理番号	A-II-2
事 業 名	「アジア平和=人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) A	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を概ね満たしており、事業目的は実現された。
(コメント)	<p>交流プログラムの枠組みについては、東南アジアの多くの国々の大学間の調整という困難な課題に挑戦している。東ティモール大学との学生交流のように、他大学で実施されていない連携を開拓したところも評価できる。</p> <p>質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成については、メイン・プログラムとサブ・プログラムの二本立てという現実的なアプローチにより、一定の成果を上げることができている。</p> <p>外国人の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備においては、特に大阪大学と広島大学でこれまでに整備されてきたサポート体制が活かされている。しかし、インターンシップの開拓では更なる努力が求められる。</p> <p>事業の実施に伴う大学の国際化については、一部の参加大学のダブルディグリーが開始されたなどの成果がみられ、事務職員の外国語コミュニケーション能力の向上を目指す体制整備もある程度進んだ。</p> <p>目標の達成状況をみると、平和と人間の安全保障というテーマで国内外のコンソーシアムを結成し、問題点の発見を含めてある程度の成果を出すことができている。交流する学生数も概ね計画の水準を達成できている。派遣については、短期が多くなっているが、3か月以上の派遣も増えるよう期待する。</p> <p>今後の展開や大学教育のグローバル展開力の強化に対する貢献については、目指す人材養成の目標をもう少し絞って枠組みを具体化することで、アジア地域のみならずアフリカやその他の地域に対する展開への参考となることが望まれる。</p>